

環境変動と 生物集団

長期モニタリング研究から見えてくるもの

生物の集団が環境変化に対してどの様に反応するのかを探ることは、生態学という学問の最も大きな使命の一つです。ただし、生物の寿命はものによっては数十年から数百年に達し、環境変動も地球規模で数百年単位の時間をかけて進行します。このため、実際の研究は個々の調査地でモニタリング調査を継続的に積み上げたくらうで結果を国内・国際レベルで比較する必要があり、そうした作業が進展して事態の一端が見える様になってきたのはごく最近のことです。

本シンポジウムでは、こうした時空間的に巨大な広がりを持つ対象を相手にして、実証データを積み上げていく作業に携わってきたセンターの研究者が報告を行います。

2021.3.7 sun

14:00～16:30

会場：あいぽーと佐渡

オンライン参加も可能

プログラム

- 14:00 開会のあいさつ …… 安東宏徳（海洋領域 教授）
- 14:10～15:10 パネルトーク …… 「環境変動と魚類」 飯田碧（海洋領域 准教授）
「鳥類の長期モニタリングから環境変化を読む」 永田尚志（里山領域 教授）
「環境変動に対する森林の反応を捉える」 本間航介（森林領域 准教授）
質疑応答
- 15:10～15:25（休憩）
- 15:25～16:25 基調講演 …… 「気候変動と森林変化 一桜と富士山」 崎尾均（森林領域 教授）
- 16:25～16:30 閉会のあいさつ …… 箕口秀夫（副センター長）

要・参加申込み

あいぽーと、オンラインともに、参加申し込みが必要です。



左のQRコードからお申し込みいただくか、メールで以下の情報をお知らせください。

① 参加希望者のお名前 ② メールアドレス ③ 希望参加形態（あいぽーとまたはオンライン）

※あいぽーとでの参加：先着 50 名

お問い合わせ：新潟大学佐渡自然共生科学センター事務局（0259-22-3885）

✉ sadojimu@adm.niigata-u.ac.jp